

次世代エンドポイントセキュリティ製品

パロアルトネットワークス Traps

3つの防御アプローチで攻撃を未然に防ぐ

未知のマルウェアや新たな脆弱性を使用した標的型攻撃など、攻撃は多様化しています。

単一機能によるセキュリティ対策ではもはや安全とは言えません。

Trapsは3つの新しい防御アプローチで、

さまざまな攻撃を、既知・未知を問わず未然に防ぎます。

Traps 3つの防御アプローチ

WildFire

パターンマッチング+サンドボックスの機能を提供するクラウド環境



パターンマッチングによる
既知マルウェアの検知



サンドボックスによる
未知マルウェアの振る舞い分析

機械学習

膨大なデータに基づく先進的な
機械学習エンジンでマルウェアを検知



脆弱性防御

アプリケーションの脆弱性を悪用した攻撃を
既知・未知を問わず防御



Traps の特長

定期スキャンが不要

従来のアンチウイルス製品と異なり、定期的な全ファイルスキャンが不要で、ストレスなく利用が可能

軽量の動作

ディスク使用量、CPU使用率が低く、業務効率に影響を与えず効率的に利用可能

詳細なログ分析

攻撃された際のメモリダンプを含む多種のログデータを収集できるため、その後の詳細な調査、分析が可能

防御アプローチの詳細

Trapsの標的型攻撃防御ステップ

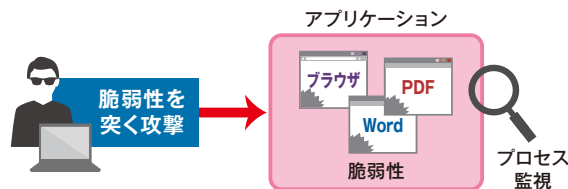


脆弱性対策



脆弱性防御

脆弱性を悪用した攻撃で、共通して利用される攻撃手法をプロセス上で常時監視。攻撃手法自体を阻止するため、脆弱性の既知・未知問わずに防御。プロセスを監視する検知手法のため、ファイルタイプに依存せず、ファイルが介在しない脆弱性攻撃も防御可能。



マルウェア対策



WildFire

- 世界に導入されたパロアルトネットワークス製品から、最新マルウェア情報を収集。この情報を基に、パターンマッチングで既知のマルウェアを検知し、実行を阻止。
- 未知のファイルをクラウド上の仮想環境で実行。振る舞い分析によりマルウェアを検知し、実行を阻止。



機械学習

WildFireで収集した膨大な数のファイルから、マルウェアファイルに共通する特徴をさまざまな観点で抽出。特徴を学習したエンジンでマルウェアを検出し、実行を阻止。

■ 一般的なマルウェア対策製品のマルウェア種類別検出可否

マルウェア種類	既知	未知(亜種)	未知(新種/カスタマイズ化)
対策製品種類	既知	未知(亜種)	未知(新種/カスタマイズ化)
パターンマッチング型製品	○	△	×
サンドボックス型製品	△	△	○
機械学習型製品	△	○	×
Traps	○	○	○

Trapsはこれら全ての技術を用いて既知・未知のマルウェアを検出可能!

従来のアンチウイルス製品との違い

Traps

脆弱性、マルウェアの両方の攻撃に対応可能です。既知はもちろん未知の攻撃も防御できるため、日々進化する攻撃に柔軟に対応できます。

従来のアンチウイルス製品*

主に既知のマルウェア対策に特化しています。そのため、近年増加する脆弱性攻撃や未知のマルウェアには対応できません。

*パターンマッチングによるエンドポイントのアンチウイルス製品



※Palo Alto Networks, Palo Alto Networks Logolは、米国Palo Alto Networks, Inc.の商標、または登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は、各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良の為、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のもので、製品バージョン、前提条件などの詳細はお問い合わせください。



商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談受付

【電話による受付】

0120-421-126 [通話料無料]

受付時間 10:00~17:30 月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)

【メールによる受付】

webmaster@hitachi-solutions.com

※ご相談、ご依頼いただいた内容は、回答等のため、弊社のグループ会社にて情報を提供し対応させていただきます。取り扱いは充分注意し、お客様の許可なく他の目的に使用することはありません。

本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

<http://www.hitachi-solutions.co.jp/paloalto/sp/>

このカタログは資源保護の為、再生紙を使用しています。

H28K-12-01 2017.01

株式会社 日立ソリューションズ
<http://www.hitachi-solutions.co.jp/>